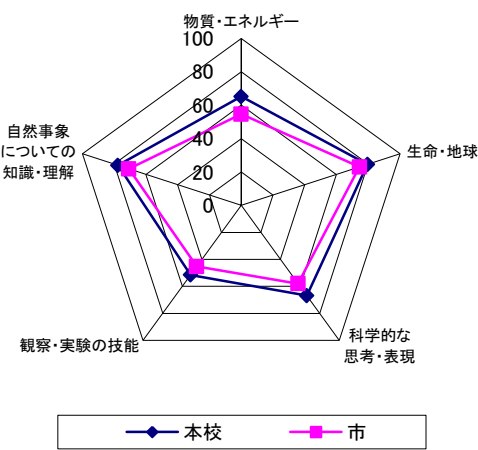


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	65.2	54.6	57.5
	生命・地球	79.6	74.5	75.4
観点別	科学的な思考・表現	66.9	58.0	59.6
	観察・実験の技能	51.6	45.3	50.6
	自然事象についての知識・理解	77.6	70.7	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市の平均を10.6ポイント上回ったが65.2%と、やや課題が見られる。 ○「物のとけ方」「物の燃え方」では、全ての設問で市と全国の平均を上回った。 ●固体が溶けた2種類の水溶液を区別する方法を答える問題の正答率が28.9%と低く、どのような実験を行えばよいか判断する力に課題が見られた。	・実験の方法や目的、その時に使う器具等の名前をもう一度確認する機会を設ける。 ・実験の際には、どのようなことを調べるのか、そのためにどのように実験をすればよいかをよく意識させ、臨めるようにさせる。
生命・地球	平均正答率は市の平均を5.1ポイント上回っており、学習内容は概ね身に付いていると言える。 ○「生物とかんきょう」では、全ての設問で市と全国の平均を上回った。 ●受精して数時間後のメダカの卵の様子を答える問題では、正答率が56.7%と低く、課題が見られる。 ●文章に合った動物の器官を選ぶ問題では正答率が58.9%と低く、動物の器官についての知識に課題が見られる。	・動物の器官について、自分たちの体の仕組みに興味を持つように事例を挙げながら再度覚えるべき名称を確認する機会を設ける。 ・メダカなど、ヒト以外の生物にも興味を持つように、自然と触れ合う機会をなるべく多く設けるようにする。